

深大寺発の美しい縁^{へり}バッグの縫製を担当しています

「ちょうふのおみやげ2019」にも選ばれた量の縁を使ったハンドメイドの「縁(へり)バッグ」。「わかば第一事業所」にほど近い小林量店併設の「MIEN(深縁)」で製作・販売している、オリジナル商品です。事業所では、縁と縁を縫い合わせてバッグの生地にする作業をメンバーが担当しています。

「主人が参加している調布市社会福祉協議会からの紹介で「わかば第一事業所」さんをお願いするようになりました。量縁は丈夫な分、厚みがあるので縫製も技術が必要。当初は苦勞されていたようですが、どんどん上手になって、とても助かっています」(店主・小林孝子さん)



縫製用の量縁は、縫い合わせる順番に組み合わせてまとめてあります。

事業所では毎月1回の納品に合わせて、2〜3人で作業を分担し、毎週1回、ミシンの講師と一緒に仕上げていきます。寄付していたいた工業用ミシンに替えてから飛躍的に作業の質があがったのだそう。セットされた量縁を、順番を崩さぬよう縫製していきます。「納品に伺った時に、以前縫った布が商品になっているのを見るのもうれいんです。すぐ近所の顔が見える関係で、しかも直接工賃をいただけるのは、自分の仕事が地域で生かされ役立っていると実感できる貴重な体験。美しいバッグ作りのお手伝いを、これからも続けていきたいです。また他のお店とも、何かの形でつながりを作っていければと思います」(わかば第一事業所職員・棟渡奈保子さん)



今日は月1回の納品。布の形に縫製した完成品を持参して検品してもらって完了。次月分の作業内容の説明を受け、材料を受け取ります。



メンバー自身が選んだ量縁でオリジナル作品を作製することも。朝市などで販売。

MIEN(深縁)

約300種類の縁の中から、好きな色や組み合わせを選ぶセミオーダーで世界にひとつだけのオリジナルバッグも作れます。ポーチやコサージュなどの小物も人気。



調布市深大寺北町6-18-4
070-6671-8842



「縁バッグ」は色の美しさはもちろん、とても軽くて丈夫なのが特長です。



今月分のお仕事の工賃の受け取り。直接現金でいただけるのでうれしさもひとしお。

逸品誕生 ストーリー vol.5

使うほどなじむ手作りならではの味わい 革紐ストラップ



色や素材の組み合わせはみんなでアイディアを出し合っ

「びいすスティック」などの焼き菓子でも有名な、福祉作業所「びいす」の、もう一つの定番がオリジナルの革製品。中でも細い革紐を編んで作るストラップやキーホルダーは、一つ一つ違う色合いと上品な質感が魅力の、自慢の逸品です。

担当の駒崎マリ子さんにお話を伺いました。「2011年の開所にあたり、他の作業所にはない目玉になる製品を求めてたどり着いたのが革細工。以来10年以上工夫を重ねて作り続け、ナスカンやリールなど用途の違う金具を組み合わせて、製品のバリエーションも増えました。出来上がりの要となる紐編みは、革の表側をしっかりと出しながら、適度な強さで均一に仕上げるための技術に加えて、何より根気が必要な作業。メンバーみんなが得意なわけではありませんが、各々できることを分担。色や素材選び、組み合わせは職員とメンバーと一緒にアイディアを出し合い、時には流行を意識した新作などにもチャレンジしています。コロナ禍で今はお休みしていますが、浅草橋などにみんなで材料の革や金具を買い出しに行くのも楽しみのひとつです。革細工の魅力は、色や素材の質感によって出来上がりの表情が全く変わってくる。お好みに合わせてのオーダーも承っています」

びいす

わくわく編集部が見つけた福祉作業所メイドの逸品をシリーズで紹介。今回はハンドメイドの本革小物が人気の「びいす」にお邪魔しました。



「普段使いはもちろん、プレゼントにもおすすめ」と駒崎さん。



編み作業。ずれないように固定して集中して編んでいます。



編む、縫う、など分担しそれぞれ作業に取り組んでいます。



ミニバッグキーホルダーなどの革小物も人気があります。



基本情報
びいす
調布市深大寺元町4-7-12
042-230-9776

逸品に出会える場所 「びいす」の革製品は、調布市総合福祉センター1階「わかくさショップ」(月・水・金10時～15時)や「ベーカリー&カフェ ほととれ〜」などで販売しています。